

甲斐市議会 山梨県緑化センター跡地活用特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和4年11月21日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（9名）

委員長	秋山照雄君	副委員長	金丸幸司君
	若尾彰子君		谷口和男君
	清水和弘君		滝川美幸君
	山本英俊君		内藤久歳君
	藤原正夫君		

欠席委員（なし）

傍聴議員（3名）

議長	赤澤厚君	加藤敬徳君
	金丸寛君	

説明のため出席した者の職氏名

子育て健康部長	戸澤文香君	都市建設部長	齊藤一己君
子育て支援課長	中島茂樹君	児童係長	柴崎智之君
緑化センター 活用推進係長	丸茂貴幸君		

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	山田洋	書記	池上恵
書記	長田大地		

内容

- 1 (仮称) 篠原地区公園整備における設計基礎調査及びサウンディング型市場調査の
実施について
- 2 その他

開会 午前 9時54分

○書記（長田大地君） ご参集大変お疲れさまです。ただいまから山梨県緑化センター跡地活用特別委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいります。

それでは、次第の2、委員長挨拶、秋山委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（秋山照雄君） おはようございます。

新型コロナウイルスも増加傾向にあり、皆様におかれましてもコロナ対策を講じることなど十分に注意していただきたいと思います。

さて、本市が進めている旧山梨県緑化センター跡地の活用については、子育て支援の機能を有する複合施設の整備を検討していることから、今回の委員会から子育て健康部の担当職員にも出席をしていただくことといたしましたので、報告させていただきます。

それでは、この後、担当から説明がありますが、各委員におきましては、本市の主要施策である本事業がすばらしいものとなるよう、活発な議論を交わしていただくことをお願いしまして、私の挨拶とさせていただきます。

ただいまの出席委員は9名です。定足数に達しておりますので、これより山梨県緑化センター跡地活用特別委員会を開会いたします。

○委員長（秋山照雄君） 本日の委員会は、お手元に配付した次第のとおり進めたいと思います。

なお、本日は委員外議員の傍聴を許可しますので、ご承知おきください。

質疑は、委員の質疑を受けた後に、傍聴議員の質疑を受けたいと思います。傍聴議員の質疑は、さきの申し合わせのとおり、会派の割当て人数により行います。

質問は1問とし、再質問は1回までとなります。また、無会派議員は質問できませんので、ご承知おきください。

それでは、これより次第の3、内容に入ります。

(1) (仮称) 篠原地区公園整備における設計基礎調査及びサウンディング型市場調査の

実施についてを議題といたします。

担当より説明を求めます。

齊藤都市建設部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 改めまして、おはようございます。本日もよろしくお願いたします。

冒頭、大木課長につきましては、都合により本日欠席させていただきますことをご報告させていただきます。

それでは、（仮称）篠原地区公園整備における設計基礎調査及びサウンディング型市場調査についてご説明いたします。

資料1ページをお願いいたします。

市では、昨年度、公園整備に係る活用アイデア募集、市民ワークショップ等を通じた市民合意形成を図る中で、公園整備の基本計画を策定し、本公園の基本コンセプトを「次世代へつなぐ創造の森」と定め、前回9月9日の本特別委員会に市整備案をお示しいたしました。

これに伴い、遊具や芝生広場などの配置、子育てや学びの場となる複合的な機能を有する施設を核に、防災面にも配慮し、誰一人取り残さない共生社会の実現に向けた、誰からも愛される公園を整備するに当たり、公園イメージを具体化する設計基礎調査を行い、基本ゾーニング及び空間コンセプトなどについて検討を進め、今後実施する設計業務の基礎資料とするものであります。

また、公共施設の維持管理においては、サービスの向上並びに経費の縮減が求められることから、これまでの市民参加による公園整備の取組を加速化し、民間ノウハウの活用や地域住民との協働など、指定管理者制度やパークPFIなどの公民連携による運営維持管理手法について検討するサウンディング調査を併せて行うものとしします。

本業務の委託業者選定に当たっては、豊富な経験と高い専門知識を基に、公園イメージ等の立案と市民参加による公園づくり並びに公民連携による運営手法等について一体的に提案ができる業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を実施し、応募のあった3者から選定した結果、株式会社オープン・エーと委託契約を締結いたしました。

委託先業者は、ただいまご説明いたしました、株式会社オープン・エー。所在地は東京都中央区日本橋馬喰町2丁目7の15。

業務期間は、令和4年10月25日から令和5年1月31日までで、契約金額は税込1,496万円であります。

また、審査結果の公表につきましては、本業務の公募型プロポーザル実施要綱の規定に基づき、全国的な実施例と同様、最優秀提案者の名称及び参加者数のみを公表とし、市ウェブサイトに掲載いたしました。

2ページをご覧ください。

サウンディング型市場調査の実施であります。この調査は、施設整備や事業化検討を進めるに当たり、早い段階から市民・団体・民間事業者等との対話により、様々なアイデアや利活用方法を事前に把握するものであります。

本調査では、（仮称）篠原地区公園の設計業務や整備後の運営管理に向けて、施設の維持管理方法、公園における事業展開、カフェ等における公民連携、パーク P F I 等の可能性など、対話形式により市民・団体、民間事業者のアイデアや提案を把握するもので、市広報11月号及び市ウェブサイトを実施内容を掲載し、現在、参加者を募集しているところであります。

なお、参加申込み期限は11月30日までで、実施期間は11月21日から12月20日まで、実施結果概要の公表は、令和5年2月上旬を予定し、本特別委員会においてご報告をさせていただきます。

別紙になりますが、右肩に別紙1と記載しております資料をご覧くださいと思います。

本事業の受託事業者であります、株式会社オープン・エーが公民連携の手法により手がけた公園の整備事例の一部をご紹介します。

まず、静岡県沼津市の泊まれる公園「I N N THE P A R K」であります。

沼津市北部の愛鷹広域公園の中にごございます、小・中学生の林間学校などが行われてきた沼津市立少年自然の家につきましては、少子化の影響や施設の老朽化に伴い、閉鎖が決定されたことから、新たな活用方法を検討するため、2016年7月に事業者の公募型プロポーザルが行われ、現代的にリノベーションし、新しいタイプの複合宿泊施設と改修を計画したものであります。

この施設は、県内外から人々が訪れる新しい宿泊施設を目指し、既存建物の魅力を生かしながら、施設が公園と一体となるような新たな仕掛けを設けた設計となっております。

森にひっそり浮かぶ球体テント、雨天でも緑を眺めながらゆったりとした時間を過ごせるサロンカフェなど、自然を身近に感じながら、より豊かな時間を過ごすための空間づくりを手がけた事例でございます。

2ページ目をご覧ください。

次に、静岡県清水区の「トライアルパーク蒲原」であります。

資料のほうは、申し訳ありませんが、静岡県清水区とありますが、正確には静岡県静岡市の清水区となります。

本年7月2日にオープンした本施設は、県立高校のグラウンド跡地を市が取得し整備したもので、誰もが立ち寄ることができる魅力的な拠点づくりと、訪れた人たちが町への周遊や町との交流のきっかけを与えることを目指し、地域住民などにのんびりとした時間を過ごしてもらうとともに、様々な情報発信や周遊の仕掛けを通じ、蒲原の町に繰り出したくなるきっかけをつくることを狙いとして計画されました。

トライアルというプロジェクトは、国内初の取組事例であり、1ヘクタールもの広大な敷地をたくさんの人の「やりたい」という思いを実現するため、トライアル・サウンディングという手法でつくり上げたきっかけともなりました。実際に暫定形態でオープンしながら、蒲原にふさわしい機能や施設を施行、いわゆるトライアルを重ねていくという手法で、イベントをしたい、出店したいなどのみんなの思いを実現できるような取組を行った事例であります。

次に、佐賀県江北町の「みんなの公園」であります。

この公園は、空き地になっていた町の中心部にあるショッピングセンター裏の店舗職員用の駐車場を町が取得し、整備したものであります。2018年1月、町では、全町民を対象とした意見交換会に加え、子育て層や地元の事業者などを対象にしたワークショップを開催し、参加者に公園に何が欲しいかではなく、そこで何をしたいかという視点から、実際に公園でどんな時間を過ごしたいかをイメージしてもらい、多目的に使用可能な大きな屋外広場と、カフェやオープンスペースを併設する附帯施設の整備といった意見が導き出され、それらを盛り込んだ基本計画がまとめられた事例でございます。

右肩に別紙2と記載されております資料をご覧ください。

現在、3か所の募集を行っております、（仮称）篠原地区公園の整備に係わるサウンディング型市場調査の実施要領について、概要をご説明いたします。

初めに、1、調査の目的といたしまして、公園整備の概要と、本調査は公園の設計業務や整備後の運営管理に向けて、施設の維持管理方法、公園における事業展開、カフェ等における公民連携、パークPFI等の可能性など、対話形式により、市民、団体、民間事業者の皆さんの提案を募集するものであります。

次に、2、施設の概要、対象用途といたしまして、所在地、敷地面積、用途地域、公園種

別、整備予定施設を記載しております。

2ページをご覧ください。

次に、3、スケジュールにつきましては、先ほどご説明したとおりであります。

次に、4、参加要件といたしまして、公園施設等の運営に関する事業実施主体となる意向を有する法人、公園の利活用に関する提案をお持ちの市民及び市民団体並びに展示会、フリーマーケットなどのイベント等、運営実績のあるものと定め、以下、特記事項を定めております。

次に、5、参加申込み、提案募集といたしまして、申込み期限を11月30日とし、事前に必要事項、提案概要を記載したエントリーシートの提出を定めております。なお、右肩に別記3と記載された資料が、事前にご提出いただくエントリーシートでございます。

次に、6、提案内容といたしまして、幾つか具体例を記載しております。基本コンセプトを踏まえた民間活力、市民参加に関する提案、公園や施設の管理運営に関する提案、公園や施設の付加価値を高める事業手法に関する提案、施設を活用したイベント、自主事業の展開等の提案、子育て支援に関する事業の展開や運営に関する提案、カフェ、レストランなど飲食に関する提案などあります。

4ページをご覧ください。

次に、7、サウンディングの実施といたしまして、実施期間は11月21日から12月20日、所要時間はそれぞれ30分程度と定め、その他注意事項を記載しております。

次に、8、調査結果の公表といたしまして、調査結果の公表は概要の公表とし、参加者の個人名や法人名等は公表しないととも、アイデアやノウハウの保護に配慮した上で公表することと定めております。

次に、9、留意事項としまして、参加実績は事業者公募に係る評価のインセンティブにはならないこと、サウンディングに関する全ての費用は参加者の負担とすること、参加者及び本市のヒアリングにおける発言は、その時点での想定によるものであり、提案いただいた事業の実施等を約束するものではないことなどを定めております。

その他、10、別紙としまして、右肩に別紙4と記載しております資料、この資料につきましては、前回の本特別委員会でお示しいたしました内容を、本調査における公園整備のイメージ図として添付しております。

委員会資料の3ページにお戻りください。

2、今後のスケジュールでございます。

今年度は、現在実施しております設計基礎調査及びサウンディング業務のほか、公園区域の基本設計、実施設計及びサウンディング業務委託、また、市道緑化センター八幡前線設計業務委託、また、県道甲斐中央線道路整備につきましては、引き続き県と協議をしております。

令和5年度は、施設部分の基本設計、実施設計及びサウンディング業務委託のほか、造成など着手可能な部分から順次工事に着手し、公園の供用開始は令和6年度以降を予定しております。

以上が、今回の説明となります。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（秋山照雄君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで、委員並びに職員各位に申し上げます。

質問は一問一答とし、また、質問、答弁は簡潔、明瞭にさせていただきますようお願い申し上げます。

それでは、説明に対する委員の質疑を行います。

質疑等がありましたら、お願いたします。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） 別紙2になるのかな、サウンディングについて伺いたいんですけども、これの参加資格が、甲斐市民でなければ、あるいは甲斐市に事業所なんか置いているところでなければいけないのでしょうか。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） ご参加いただけるのは、まず、甲斐市民、それと甲斐市に事業所を有するところへお勤めになられている方などを対象にしております。

○委員長（秋山照雄君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） あと、市民ワークショップのときに、山梨総研と山梨大学のほうでアドバイスいただいたじゃないですか。そちらとの意見交換とかいうのは、今度オープン・エーでしたっけ、これとの間でできているのでしょうか。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 本事業のアドバイザーとしまして、山梨大学の大山教授にはアドバイザーという立場でご参加いただいておりますので、この事業を実施するに当たりましては、あらかじめご相談をさせていただいております。

○委員長（秋山照雄君） そのほか質疑ありませんか。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 資料3ページで、提案内容をここに記載されていますけれども、これらに対して具体的に市民の方は、さっき言った団体さんとかから具体的にこういうことをやったらどうだということなんですけれども、4ページのほうで、市役所で所要時間30分程度としますとあるんで、これ、いわゆるプレゼンみたいなことをしてくれということなんですか。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） プレゼンというか、このサウンディングというのは、あくまでも意見を聴取するというのが目的ですので、その応募いただいた方がどういったことを考えられているか。具体的にお示しできるようであれば、この30分間くらいの中でのヒアリングを行って聞き取りをしていくということになっております。

○委員長（秋山照雄君） ほかにありますか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） おはようございます。

1点ほどお伺いします。

まず、1ページの委託業者なんですけれども、プロポーザル方式で、3者が今回は先行したという中で、1者のオープン・エーさんですか、言っていたんですけれども、この2者というのは、もし名前が公表できたら、お示しお願いしたいですけれども、よろしいですか。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 先ほどちょっとご説明させていただきましたとおり、1ページの下のほうに審査結果の公表ということで、原則論といたしまして、最優秀提案者の名称及び参加者数ということで、これは私どもの市だけに限らず、一般的に公募型のプロポーザルというのは、最優秀に選ばれた業者さんの名称は公表させていただきますが、具体的にどこが参加したかというところまではオープンにしないというのが通例でございますので、先ほど言いました、オープン・エーを含めて3者から応募があったということで、仮ですけれども、仮というか、具体的にはいずれも手を挙げていただいたところは、国内でも大手というか、そういったところになります。

○委員長（秋山照雄君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

3ページの今後のスケジュールなんですけれども、その中には、例えば令和4年度の中には、もう令和4年度と言いますと、3月なんですよね。その中に、一番上の分かるんですけども、県道の中央線道路整備とかいろいろあるんですけども、それなんかもうほとんどが3年度で終了と。業務委託もするんですけども、整備も継続はするんですけども、このように進んでいるかどうか、確認をしたいですけれども。お願いします。進捗状況。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 今年度予定しております、この項目に書かれている、2つ目の市道緑化センター八幡前線の設計業務委託につきましては、今年度のうちに発注をさせていただき予定しております。

県道につきましては、基本的には県が整備することになりますので、先ほどご説明させていただきましたとおり、引き続き協議をして、公園等を利用される方、また、あそこを通行される方の安全が確保された道路設計のほうをお願いできるように行っているところではございます。

○委員長（秋山照雄君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 4年度になって、5年度、これに着手して、供用開始が6年度ということで、あまり時間がないような気がするんですけども、今、いろいろなポストとか、いろいろ遊具とか、今から子育ての話をするんでしょうけれども、これでほとんど計画どおりに間に合うというような、そういう考えは持っていますか。これで間に合うのか、2年ぐらいの間にこんなにあれができるのかどうかということ把握していますか。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 本事業につきましては、以前から申し上げており、市の財政の負担にならないように、国等の補助金を有効に活用したいと思っております。ですので、来年度の国費の本要望等をしておりますが、これらを踏まえて補助金が確保できた段階で、それなりの事業をどんどん進めていきたいなど。

幸いこの公園につきましては、区画がそれぞれ分かれておりますので、整備としましては、今後の進捗を見ながら、手をつけられる部分からどんどん手をつけていって、目標としております6年度以降の供用開始に邁進してまいりたいと考えております。

○委員長（秋山照雄君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 大体分かりました。

今、部長が説明するように、国の補助金等を見ながら。幸いにもゾーンが分かれています

から、それを優先、優先的ということはないですけれども、できるものからやってということの今回答なんですけれども。

そうしますと、6年供用開始になると、来年度が一番中身の濃い、いろんところで重要なところになろうかと思うんですけれども、1年間でそれだけ踏み込むことができるかどうかという心配などがあるんですけれども、供用開始が予定ですから、6年ということはあるでしょうけれども、焦らずゆっくりと、ここまで来たらやってほしいなということもありますので、それは私個人的な意見ですから、頭の中に入れておいていただければありがたい。

以上です。

○委員長（秋山照雄君） ほかにありますか。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） 今やっているオープン・エーさんで提案型プロポーザル方式で委託されるということなんですけれども、市がやっているのでも子育て支援機能を有するということで書いてあるので、子育て健康部のほうではどのような施設を造るということでそちらと話し合いをしているのでしょうか。

○委員長（秋山照雄君） 中島子育て支援課長。

○子育て支援課長（中島茂樹君） 子育て支援課のほうでは、第2期の甲斐市子ども・子育て支援事業計画、こちらの中にありますニーズ調査の中で、市民の方からの調査の対象として、気軽に相談できる場所、気軽に短時間子供を預かってくれる場所、室内で思い切り体を動かせる施設、こういった要望を、サウンディングですとか今後の提案に含めていただけるような施設ということで、子育て支援施設に提案していただけるように、こちらのほうも考えのほうを提案しまして、それをまとめていただきたいということでお願いしているところであります。

以上です。

○委員長（秋山照雄君） ほかにありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 2ページのサウンディング型市場調査の実施というのがあるんですけども、これについてはサウンディング調査参考用というこの資料を渡してやると思うんですけども、この中で、市民の今までいろいろなワークショップに入っているいろいろな意見が出されました。改めてこういう形で市民と、業者というか、そういう人がオープンな形の中でや

るという認識なので、その辺のところは、要は大事なことは、今まで市民が参加して積み上げてきたそのことをどういう形で生かしていくかということなんだけれども、その辺のところははっきり分からないというか、その辺の位置づけというのはどうなっているのかな。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 今、おっしゃられるとおり、前回の本特別委員会で、先ほどご説明いたしました、右肩にある別紙4、この内容をお示しさせていただきました。この内容というのが、今、内藤委員さん言われるとおり、これまでのアイデア募集、それから市民ワークショップを踏まえて出されてきたものを、市としてこういった内容で整備しましょうということで、お示しさせていただきました。

それらを今度、市民、また、団体、それから事業者等に幅広く声を聞いて、この公園の維持管理方法とか、また、公園における事業の展開、私だったらこういうことをやってみたいとか、また、カフェ等も、前ご説明しましたとおり、パークPFI等で整備をする。また、指定管理等も踏まえた中で、そういったことへの導入を検討されているところがあるのかどうかというようなことも聞き取っていくサウンディングとなっております。

○委員長（秋山照雄君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） くどいようだけれども、ということは、ここに、対話形式による市民、団体、民間事業者のアイデアや提案を把握するというんだけれども、具体的に市民が先ほど30分間のプレゼンという場も、市民に与えられるということという、そういう人が出てくれば。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 別紙3の、これがエントリーシートということで、この応募していただくのは、先ほど申しましたとおり、市民、それから団体、事業所、それは事業所とか団体は県内外問いませんが、そういった方たちが、この2番のところにあります、事業実施者としての応募、公園の一般利用者としての応募、イベント等の主催者としての応募というようなことで、その関わる方がどういったことをここでやりたいんだということを、その30分間、おおむね30分ですけれども、その中で今回受託しましたオープン・エーがどんなことを考えているのかというのを聞き取って、今後の設計業務に反映できる資料としての参考としてお聞きをしているという内容となっております。

○委員（内藤久歳君） あくまでもこれについては、先ほど受託したオープン・エーが取りまとめをして、方向性を決めて市に提案する、そういう流れということでもいいのかな。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） そうですね、まず、受託した業務内容がサウンディング業務というのを担っておりますので、こういった意見が出されたということをして市のほうに報告して、市のほうで精査する中で、また本特別委員会のほうに、こういったご意見がありましたということをお示しさせていただきたいと考えております。

○委員長（秋山照雄君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ということは、今まで市が基本的な考えとして取り組んできた市民参加型の事業ということで、そういうものがこういう形で広く市民に担保されているということがこれで確立するとか、やっているという形で進めていくということはいいいですね。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） おっしゃるとおりです。

ですので、前回お示しした内容が市民の総意とか、ご意見で参考になりますので、ここにはないものが新たにぽんと出てきて整備されるというようなことはございません。

○委員長（秋山照雄君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 分かりました。そういうところをやっぱり市民参加型ということをやっているから、そういう部分がどういう流れの中で進めてきたかというものを、段階的に見える化じゃないけれども、やって市民の理解を得ることが必要だと思うので、今後こういう議会はもとより、市民に対しても経過を広く公開する。それでいろいろなことを発信はしていくということは聞いているんだけど、そういうことに対して丁寧に進めてもらいたいと思います。

以上です。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 私ども、今回ここへ受託しました設計の基礎調査というのは、サウンディングも併せて行うんですが、現在のお示ししたものが平面的なものでお示しさせていただいておりますので、皆さんのサウンディングを踏まえて、それを今度は立体的にパースのような形で市民のほうに広く周知していきたい。そのときには広報とか市ウェブサイト等でやっていきたいというふうに考えております。

○委員長（秋山照雄君） そのほかに質疑ありませんか。

清水委員。

○委員（清水和弘君） 以前にもちょっと話がしてあるんですけども、当時、最初の時点で

は、山梨総研から地元の説明会をというような話が出ていたんですけども、これはコロナの関係でなかなか実施できないということになっているんですけども、その後、これらの情報、一体的な情報ですよ。

上篠原地区は、特に道路関係でもって直接民間系がやっているんですけども、これは既に県のほうとしては、何か火の見の撤去であるとかそういったものの契約を既に済まして、相当具体的に目に見える形で進んでいるんですけども、実際に篠原の中で、協議会の中でそういう話が出てくるんですけども、甲斐市の中での情報がなかなか分かりにくい部分があるということになって、今回こういった方式がサウンディング方式で、これは取られるので、これを活用して協議会のほうに何か説明ができるような機会を取れるのかどうか、お聞きしたいんですけども。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 今、お話がありました、上篠原地区につきましては、地元の自治会ということもございますので、その周辺自治会等については協議会もございますので、できればサウンディングの中でお話を聞いていきたいなど。

冒頭お話ありました、県道の道路線形とかそういったものにつきましては、まず、土地所有者のほうにこういった形になるよ、こういったものが補償物件になるよということを県のほうでご説明して、今、おおむねご了解をいただきかけているところでございますので、所有者の内諾が得られれば、今後そのサウンディングの中でもお示しして、ご意見等も聞けたらというふうに思っております。

○委員（清水和弘君） 分かりました。

今後、そんなふうな地元の説明をさせていただきますので、その節はよろしく願いいたします。

○委員長（秋山照雄君） そのほかに質疑ありませんか。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 確認ですけども、今、調査をする申込みの方法として、かなりの団体にこれを周知しているということですか。例えば子育てを現在しているグループなんかにこういう意見をいただきたいという、サウンディングに申し込むという形はどのような形で周知していますか。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 先ほどちょっとご説明させていただいたとおり、まず、市の

広報紙とウェブサイトでは周知しているのと、今、お話ありました、子育ての関係については、子育て健康部のほうから所管する団体等に、こういったことを実施していますよという事は流していただいております。ですので、それぞれこの公園、建物を含めまして、今後整備が予定されている機能等に関係するところには、それぞれの所管のほうからサウンディングを行っている。できれば応募してほしいというようなことも、ご案内をさせていただいております。

○委員長（秋山照雄君） ほかに質疑ありませんか。

若尾委員。

○委員（若尾彰子君） 申込み状況は、今現在、どれくらいの申込みがあるでしょうか。

○委員長（秋山照雄君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 今現在、個人、団体、それから事業所等で約12来ております。一応スケジュールでは今日から、先ほど言った所要時間30分の聞き取り等を行っていく予定であります。

あと、そのほか、5つの個人、団体、事業所等からも関心を示す問合せ等が来ておりますので、私どももしあれでしたら、そこも正式に応募していただけたらいいなというふうに思っているところです。

○委員長（秋山照雄君） ほかにありませんか。

[発言する者なし]

○委員長（秋山照雄君） なければ、委員の質疑を終わります。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

傍聴議員の質疑ありますか。

[発言する者なし]

○委員長（秋山照雄君） なければ、傍聴議員の質疑を終了します。

以上で、（仮称）篠原地区公園整備における設計基礎調査及びサウンディング型市場調査の実施についてを終了します。

次に、（2）その他に入ります。

委員より、都市計画課、子育て支援課関係でお聞きしたいことがありましたら、お願いいたします。

○委員長（秋山照雄君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） いろいろな形の中で、今週から受付開始とか募集とかいろいろ進んで

いるんですけれども、別紙のナンバー1にありますように、静岡県の沼津市の公園とか近い
ですから、清水区のトライアルパーク、蒲原とかそんなようなところを、委員長さん、ぜひ
行けたら。陽気がよくなったり、コロナの状況を見て、何かして、どうですかね。一度こう
いうところを実際、特に別紙1の泊まれる公園のこんなことなんかは、多分すごく勉強にな
ると思うんです。ここばかりではなく、こんなふうなことを個人的に感じたところすけれ
ども、意見として、委員長、ぜひ頭の中へ入れておいてください。

以上です。その他ですから。

○委員長（秋山照雄君） その件につきましては、次第の4の特別委員会関係のその他で行い
たいと思いますが、すみません。

以上、ほかに都市計画課、子育て支援課でその他関係ありませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（秋山照雄君） なければ、その関係は終了いたします。

引き続き、次第の4、特別委員会関係その他を行います。

このその他については、ただいま藤原委員からお話がちょっとありましたけれども、私の
ほうから1点提案をしたいと思います。

緑化センター跡地については、事務局から説明があったように、今後の設計に向けて受託
したオープン・エーと取り組んでいくこととなります。オープン・エーについては、公共施
設をリノベーションする技能にたけているように感じました。

資料にありました、代表的な施設については、隣県の静岡県ですので、緑化センターだけ
でなく、今後の甲斐市にあります公共施設の方針や維持管理手法などの見聞を広げるため
にも、オープン・エーが手がけた現地をこの機会に視察研修してはどうかと思いますが、委員
より何か質問、ご意見等がございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋山照雄君） ありがとうございます。

ないようですので、視察研修を実施したいと思います。なお、今回は市の主要施設である
ため、議員全員で行きたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋山照雄君） それではそのようにいたします。

なお、日程については、私、議長、事務局に一任していただきたいと思いますが、これに
ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋山照雄君） それでは、そのようにいたします。

次に、委員より、特別委員会関係でその他何かありましたら、お願いいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（秋山照雄君） 次に、事務局より何かありましたら、お願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋山照雄君） なければ、その他を終わります。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、山梨県緑化センター跡地活用特別委員会を閉会します。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時34分